

江原啓之シンフォニック・コンサート ～いのちの詩～

HIROYUKI EHARA Symphonic Concert

© 脇谷隆介

2024年12月21日(土) 13:30開場 / 14:00開演
サントリーホール 大ホール

指揮：渡辺俊幸 バリトン：江原啓之 ソプラノ：佐藤美枝子 テノール：海道弘昭 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

第1部 オペラ「ニングル」より (原作：倉本聰 作曲：渡辺俊幸)

序章

かつらのアリア (佐藤美枝子)

オ三のアリア (海道弘昭)

カムイのアリア (江原啓之)

第2部 「いのちの詩」 (作詞：江原啓之 作曲・編曲：渡辺俊幸)

プロローグ

第一章 喜び (朗読) / ことのは (言の葉) Love until it hurts!

第二章 怒り (朗読) / プライド

第三章 哀しみ (朗読) / 流れ星

第四章 楽 (朗読) / 蓮華

チケット：SS席 15,000円 / S席 12,000円 / A席 10,000円 / B席 8,000円

チケットぴあ WEB予約：<https://t.pia.jp/> Pコード：276-366

サントリーホールチケットセンター WEB予約：<https://suntoryhall.pia.jp/>

電話予約：0570-55-0017 (オペレーター対応 休館日を除く10:00-18:00)

主催・制作・お問合せ：メイ・コーポレーション 03-3584-1951 (平日10:00-18:00)

※未就学児はご入場いただけません。※出演者、プログラムが変更になる場合がございます。予めご了承ください。※ご予約のキャンセルは承れません。

※公演中止の場合を除き、チケット代金の払い戻しはできません。

一般販売：8月17日(土)

江原啓之シンフォニック・コンサート ～いのちの詩～ HIROYUKI EHARA Symphonic Concert



渡辺俊幸（指揮）

日作曲家として映画、テレビドラマなどから純音楽まで幅広いジャンルで活躍。代表作にNHK大河ドラマ「利家とまつ」、「毛利元就」、NHKドラマ「大地の子」、NHK連続テレビ小説「おひさま」、「どんど晴れ」、「かりん」、「ノンちゃんの夢」、映画「平成モスラシリーズ」、「UDON」、テレビアニメ「宇宙兄弟」、オペラ「禅〜ZEN」、「ニングル」他がある。2005年愛知万博の開会式の音楽監督を担当。テレビドラマ「リング〜最終章〜」で第20回ザ・テレビジョン ドラマアカデミー賞 劇中音楽賞を受賞。平原綾香「おひさま〜大切なあなたへ」で第53回日本レコード大賞編曲賞を受賞。洗足学園音楽大学客員教授。



© 脇谷隆介

江原啓之（バリトン）

武蔵野音楽大学特修科修了。菊池英美、吉池道子の各氏に師事。2008年「セヴィリアの理髪師」のフィオレロでオペラデビュー。同年、渡辺俊幸氏作曲『いのちの詩』初演。翌年「ラ・ボエーム」ペノア、アルチンドロの両役で出演。「活動20周年記念コンサート」三枝成彰音楽監督のもと4都市で開催し、佐藤美枝子氏と共演。2016年「ジャンニ・スキッキ」タイトルロール、2018年、自身プロデュース公演「夕鶴」を東京・埼玉・大阪にて全5回公演を主催し大成功。自らも運ずを務めた。その他、「第九」「マタイ受難曲」などのソリストや、2022年、11回目を迎えた紀尾井ホールでのリサイタルも好評を博している。音楽活動はクラシックにとどまらず、ポップスも歌い、2004年にアルバム「スピリチュアル ヴォイス」でCDデビュー。その後CDアルバムは11枚リリースしている。2022年「ミスター・シンデレラ」で日本オペラ協会デビュー。2023年には「源氏物語」明石入道役、「夕鶴」運ず役で出演。2024年2月には新作初演となる倉本聰氏原作「ニングル」にニングルの長役での出演。2025年3月には「静と義経」に弁慶役での出演が決定している。日本オペラ協会会員、日本演奏連盟会員。吉備国際大学、九州医療科学大学客員教授。東京都出身。



佐藤美枝子（ソプラノ）

武蔵野音楽大学卒業。1995年イタリアにて「リゴレット」のジルダでオペラデビュー。1998年第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門で日本人初の第1位を受賞。その他、第64回日本音楽コンクール声楽部門第1位、同時に増沢賞、海外派遣特別賞を受賞の他、国内外のコンクールに多数入賞。日本では、2000年藤原歌劇団公演「ランメルモールのルチア」のタイトルロールでデビュー以後、数々のオペラで出演し好評を博す。第7回五島記念文化賞オペラ新人賞、第10回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、第9回出光音楽賞、第50回ENEOS音楽賞洋楽部門本賞受賞。武蔵野音楽大学教授、藤原歌劇団団員、日本オペラ協会会員。



©DMS

海道弘昭（テノール）

国立音楽大学声楽科卒業。第46回イタリア声楽コンクールソ・シエナ大賞受賞。第1回ヴェットーリオ・テッラーノヴァ国際声楽コンクール優勝。2012年日音協会「ベルカントプロジェクト」にてイタリア・ローマへ留学。帰国後、藤原歌劇団には、19年「愛の妙薬」ネモリーノを経て、21年「ジャンニ・スキッキ」リヌッチョで本公演デビュー以来、毎年主役出演を重ね、日本オペラ協会には、20年「紅天女」仏師・一真でデビュー。23年7月「夕鶴」与ひょうや、24年2月「ニングル」オ三はいずれも好評を得ている。来年2025年3月日本オペラ協会公演「静と義経」の義経で出演予定。日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。



©上野隆文

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもち、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフを擁する。定期演奏会や「午後のコンサート」、オペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏の他、各地での訪問コンサートや海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。2024年6月定期演奏会をもって「第1000回定期演奏会」を迎えた。

公式ウェブサイト：<https://www.tpo.or.jp/> Facebook：TokyoPhilharmonic/ X：@tpo1911
Instagram：tokyophilharmonicorchestra Youtube：@tokyophilharmonicorchestra5039